

「雑談カフェ」開店します！
 地域おこし協力隊の米倉です。今回がこのコラムでの4回目の投稿となります。
 11月から1回のペースで気軽にお茶をしながら雑談する「雑談カフェ」を開店しています。開店するきっかけは、放課後コムコムに集まってくる高校生はたくさんいるけれど、大人と話をしている姿を全くと言っていいほど見かけないことでした。「若い人たちが地域から分断されていくのは、地域が活性化してこない」「もっと若い人と地域の人々が気軽にしゃべりする場があってもいいのではないか」そんな思いから「雑談カフェ」は始まりました。これまで4回の開催で延べ50人ほどの人が来店してくれました。その中には高校生もいます。決まりごとは「相手の批判はしない」それ以外はテーマも何もありません。

北秋田市地域おこし協力隊
魅力発掘
 きたあきたの



その場の雰囲気でも他愛もない話から時にディープな話まで飛び出します。

そんな雑談の中から若い人たちが何かを感じる、年配者も何かを感じる、そんな場所になってほしいとの思いで、これから定期的に開店していきたいと思っています。また、現在はコムコムでの開催ですが、今後は、鷹巣以外での開催や休日を利用した開催などたくさんの方が集まって、雑談を繰り広げて欲しいと思っています。

次回は4月10日(水) 16時30分からコムコムで開店します。



4月27日から5月6日までの10連休における各医療機関の診療体制について

○: 全日診療 ◇: 救急外来で対応 △: 午前のみ ×: 全日休診

	4/27(土)	4/28(日)	4/29(月)	4/30(火)	5/1(水)	5/2(木)	5/3(金)	5/4(土)	5/5(日)	5/6(月)
北秋田市民病院	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
合川診療所	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
米内沢診療所	×	×	×	×	×	○ (内科のみ)	×	×	×	×
阿仁診療所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
うえだクリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×
遠藤クリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×
児玉内科クリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×
小林眼科医院	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
近藤医院	△	×	×	○	△	○	×	×	×	×
たかのす今村クリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×
鷹巣病院	×	×	×	△	×	△	×	×	×	×
たむら内科クリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×
津谷内科	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×
奈良医院	△	×	×	×	×	○	×	×	×	×
毛利整形外科クリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×
まるや耳鼻科クリニック	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×

叙勲伝達 生前の功績が認められる
 故・松橋修一氏、故・成田則雄氏叙勲伝達式

元阿仁町議会議員で11月に逝去された松橋修一氏(満86歳・幸屋渡)と元鷹巣阿仁広域市町村圏組合の消防司令で12月に逝去された成田則雄氏(満77歳・今泉)が、この度叙勲の旭日単光章と瑞宝単光章を受章し、3月12日に市役所で伝達式が行われました。
 伝達式では、松橋氏の長男の久之さんと成田氏の二女の香織さんが、北秋田地域振興局の渡辺雅人局長から勲記と勲章の伝達を受けました。
 津谷市長は「生前のお二人の頑張りが評価されて私たちもうれしく思う」などと受章をたたえました。



叙勲伝達 地方自治の発展に尽力
 成田恭一さんが旭日単光章を受章

元鷹巣町議会議員長の成田恭一さん(88歳・太田)が、このほど高齢者叙勲の旭日単光章(地方自治功労)を受章し、3月12日に市役所で伝達式が行われました。
 成田さんは、昭和63年に鷹巣町議会議員に当選し、平成12年3月までの3期12年間にわたり町議会議員を務められ、鷹巣町議会議員、議会運営委員長などの要職を歴任し、地方自治の発展に尽力されました。
 伝達を受け、成田さんは「受章は地域の皆さんのご支援やご指導のおかげ。心から感謝している」などと感謝の気持ちを表しました。



受賞報告 ユニカールで地域の健康増進に貢献
 和田昭三さんが県スポーツ賞受賞を報告

平成30年度秋田県スポーツ賞表彰式(県体育協会主催)で、生涯スポーツ賞を受賞した和田昭三さん(87歳・花園町)が、3月13日に市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。
 この度の受賞は、和田さんが北秋田市ユニカール協会の理事として協会員の模範となるとともに、ユニカールによる生涯スポーツの実践に努め、地域住民の健康増進に貢献したことが認められたものです。
 和田さんは「これを励みに今後も続けていきたい」などと受賞の喜びを報告しました。



記念祝典 これまでの歩みを振り返る
 朗読ボランティアやまびこ40周年思い出を語る会

設立40周年を迎えた朗読ボランティア「やまびこ」の思い出を語る会が、3月3日に市内の料亭で開かれ、会員ら21人が参加し、節目を喜び合いました。
 朗読ボランティア「やまびこ」は、市広報や市議会だよりなどを朗読し、録音したものを目が不自由な人たちに届けるボランティア団体。広報たかのす時代から現在までの間、一度も欠かすことなく活動を続け、40周年を迎えました。代表の萩原順子さんは「皆さんの支援に感謝し、これからもより良い音声訳を目指していく」と今後の抱負を述べました。

